

## 【小学部 9月の学習の様子①】

小学部3・4年1組では、算数の授業で、「はかってみよう～ながさ～」という測定分野の単元を学習しています。

身の回りのものの長さについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりしながら、長さの比較の仕方や身の回りにあるものの大きさを単位として、そのいくつかで大きさを比較することがねらいです。

この授業では、いつも遊んでいるトランポリンの大きさを、ペンやノート等で、何個分の長さかを調べ、縦と横を比較しました。

子どもたちは、これまでの学習を生かしてペンを並べて数えたり、どうすればいいのか悩んだり、それぞれ学びに向かうことができました。

この身の回りにある単位に着目して考える力を十分に養うことで、その後のセンチメートルやメートルなどの学習につながり、より深く理解することができます。また、測定の分野だけでなく、このように経験的に培った数量感覚は、その後のかけ算や面積の学習にもつながる重要な学習となってきます。



今後も、小学部では経験的・体験的な活動を取り入れながら、算数の楽しさを感じながら学習や生活に活用できるようにしていきたいと思います。